

フェイクウッドビーム 施工方法

・フェイクウッドビームの施工方法です。

商品は上記、フェイクウッドビーム断面図をご参照頂けますとお判りになりますように、コの字型をしています。

その施工面は平滑になっていますが、天井仕上げ材によっても、手順が変わります。

以下の例をご参考に施工してください。

1. フェイクウッドビームを施工する天井面が塗り壁仕上げの場合

塗り壁を仕上げる前、石膏ボードが仕上がった状態で、貫、または垂木のフェイクウッドビーム内部に隠すことのできる下地材を、フェイクウッドビームが施工される場所に伏せます。

2. フェイクウッドビームを施工する天井面がクロス仕上げの場合

クロス仕上がり後に、貫、または垂木のフェイクウッドビーム内部に隠すことのできる下地材を、フェイクウッドビームが施工される場所に伏せます。

これらは、フェイクウッドビームの仕上がり面が古木風のモールドとなっており、施工面は平滑なために、塗り壁材を塗った後 施工すると不陸を起こす可能性があるためと、クロスを仕上げる前に伏せてしまった場合の古木モールドにクロスを切り合わせる手順を省略するためです。

また、内部の下地材を施工される際には、フェイクウッドビームの内部は一定の寸法ではない事にご注意ください。

上記 断面図はあくまで参考寸法となっておりますので商品を確認しながらの下地位置決めをお勧めします。

また、専用ブラケットも同等の下地をふせた後、かぶせるように施工して下さい。

下地材を伏せ終わり、フェイクウッドビームをかぶせた後は、商品に適した長さのビスを横面から 150～300mm

ピッチで、適宜施工してください。

本体と天井、または施工される面との接触部には、弾性接着剤を施工される事をお勧めします。

これらは欠落などの事故を予防するのに効果があります。

また、ビス穴には、ジョイントコーク材 アンバー色をお使いになると簡単にタッチアップできます。

お部屋の長さが 4,000mm を超えてしまう場合

専用ジョイントをお使いください。

商品はゴム製で、それぞれの寸法のフェイクウッドビームに合わせる事ができます。

また、切り合せに関してはカッターやはさみなどの一般的なもので構いません。

接着に関して、フェイクウッドビーム本体を侵食しない弾性のものをお使いください。

この商品是不燃材ではありませんので、火気などに充分ご注意の上、通常のご使用においても高温になる場所などへの施工はお止めください。